

JGAP 農場用（畜産）審査員養成リモート研修カリキュラム

1. 目的

JGAP（畜産）の認証審査について、審査手順、文書審査、現地審査、評価方法、審査報告書の作成等に係る認証審査の実務を総合的に習得させ、審査に従事する審査員の養成を図るとともに、リモート審査に係る情報を付与する。また、近年注目を集めている SDGs と JGAP の関係についても解説する。

2. 研修カリキュラム

講義（事前受講） 2 時間

録画ビデオを視聴

- (1) JGAP 農場用 管理点と適合基準（畜産）2022_1 の基礎知識
- (2) JGAP 農場用 管理点と適合基準（畜産）2022_1 の審査立場からの読み方
 - ① 管理点の構成、特徴
 - ② 適合基準の要求事項と適合性
 - ③ JGAP 総合規則（畜産）2022
- (3) 審査の実施等
 - ① 審査の準備、審査の実施
 - ② 食品安全の重要性
 - ③ フードサプライチェーンの一員としての責務
 - ④ JGAP と HACCP の関係
 - ⑤ JGAP の項目及び管理点の分析、生産工程におけるリスク管理

1 日目（10 月 4 日）

演習 13：00～16：00 3 時間 【15 点】

演習 1～3 【15 点】（西貝講師：グループに分かれて演習）

演習 1 : 危害分析シートの作成（5 点）

演習 2 : 生産工程リスク評価表の作成（5 点）

演習 3 : 労働安全リスク評価表の作成（5 点）

講義 16：00～17：00 1 時間

リモートで実施する JGAP 監査

2 日目 (10 月 5 日)

模擬審査 3 時間 【15 点】

9 : 30 ~ 12 : 30 (通常審査)

演習 4 : 模擬審査 (共通項目、L, M, E, F)

※チェックリストを用いた模擬審査 (グループに分かれて演習)

昼食 12 : 30 ~ 13 : 30

13 : 30 ~ 14 : 30

演習 1 時間

- ① 模擬審査での不適合一覧の作成
- ② 模擬審査での適合率表の作成
- ③ 審査報告書の作成

(①から③の演習の問題と解答用紙を、受講生が郵送で1週間以内に中央畜産会へ送付)

14 : 30 ~ 15 : 00

休息

15 : 00 ~ 16 : 00

理解度試験 1 時間 【10 点】

16 : 00 ~ 17 : 00 1 時間

JGAP 家畜・畜産物審査員試験 【60 点】

(試験問題と解答用紙を、受講生が郵送で1週間以内に中央畜産会へ送付)

※研修後提出された解答用紙を採点し、100 点満点で 80 点以上が合格

※カリキュラムの時間、内容及び講師については都合により変更することがありますので予め御了承願います